

はじめに：学生の皆さんへ

早稲田大学学生部では、毎年大規模な「学生生活調査」を実施しています。主な目的はその結果から早大生の学生生活の実態と傾向を把握し、大学の学生支援策を検討する際の基礎資料として活用することです。早大生の皆さんにさらに充実した学生生活を送っていただくためには、皆さんが実際どのような学生生活を送っているか、あるいは皆さんの学習・研究環境は整備されているのかを知らなければなりません。今年で30回目を迎える調査ですが、例年、調査対象者の約3割の方々から回答をいただいている調査であり、早大生の全体像を知る唯一の貴重な資料となっています。

調査結果に基づき実際に具体化された例としては、皆さんの学習サポートサービスの場として2006年に誕生した早稲田ポータルオフィスがあります。また、2005年の「学生生活調査」結果からは大学に対する工夫改善の希望として、事務窓口受付対応の悪さがあげられ、学生窓口の対応を考え直すきっかけとなりました。2008年には学生マナーについての調査を実施し、その結果を受けて喫煙巡回等学生マナー改善の施策に生かしております。

今年度はハラスメントに関する設問を新たに設置し、学生の皆さんのハラスメントに関する意識を調査しています。さらに、皆さんの声をより多く集めるために、設問項目には、従来のアンケートの「その他」の選択肢に具体的に回答してもらうための欄を用意し、「学部・研究科の学生サービスなどについて」の自由記述欄も設けました。批判の声も含め、皆さんからいただいた貴重な意見を真摯に受け止め、関係箇所に働きかけを行いながら改善につなげていきたいと考えています。

今年度の調査は、「第1章 教員・授業・勉強・研究について」、「第2章 将来設計（キャリアプラン）と準備について」、「第3章 心身の健康と学生生活について」、「第4章 課外活動について（学部学生のみ）」、「第5章 大学院学生について（大学院学生のみ）」、「第6章 早稲田大学について」の全6章で、各章の「まとめ」と「特徴と要約」で構成されています。

皆さんの気になる進路については、「第2章 将来設計（キャリアプラン）と準備について」の章でふれています。希望進路や進路の決定時期、将来設計への準備など、他の人はどうしているのか参考にしてみてもはいかがでしょうか。

各章の内容は、文学学術院 高橋 透（第1章）、スポーツ科学学術院 岡田 純一（第2章、5章）、社会科学総合学術院 横野 恵（第3章、6章）、理工学術院 所 千晴（第4章）の各先生に監修をお願いしました。ご多忙の中「学生生活調査」結果の分析にご協力をいただきました先生方にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

2011年11月4日

学生部長 笹倉和幸